



# 越谷アルファーズ レイクタウンアリーナProject に関するご説明資料



本資料の一部または全部を無断で  
転載・複製・配布することを禁じます

越谷アルファーズは、  
次なるステージに向かうために  
“レイクタウンアリーナ Project”を始動しました。  
越谷の市民の皆様とともに最高の景色を見るために  
アリーナ整備の検討を進めておりますので、  
ぜひ応援をいただくと幸いです。

代表取締役社長 上原 和人

## 「越谷アルファーズ」について



越谷アルファーズは越谷市をホームタウンとして戦うプロバスケットボールクラブです。  
国内男子プロバスケットボールリーグ『B.LEAGUE』に所属しています。

1997年に株式会社大塚商会のバスケットボール部として創部。  
その後JBL2、NBDLなどのリーグを経て、  
現在国内男子バスケットボールリーグ『B.LEAGUE』に所属しています。  
2017年には埼玉県越谷市とホームタウン提携を組み、  
2018年に越谷市初のプロクラブとなりました。  
クラブ名のα(アルファ)は『はじまり』であり、  
未知の力で挑戦を続け、みんなにとっての+αを生み出すクラブでありたい  
という想いが込められています。  
2023-24SEASONに悲願のB1昇格を勝ち取り、  
2024-25SEASONからは国内トップリーグ『B1リーグ』の舞台で戦っています。

- 1997 ● 株式会社大塚商会のバスケットボール部として創部
- 2004 ● 日本リーグ参戦
- 2011 ● 関東実業団リーグ2部優勝
- 2012 ● オールジャパン（天皇杯）出場・JBL2に参戦
- 2013 ● NBDL（旧 JBL2）に参戦
- 2016 ● B3.LEAGUEに参戦
- 2017 ● 埼玉県越谷市とホームタウン提携
- 2018 ● 越谷アルファーズに名称変更・プロクラブ化
- 2018 ● クラブとして初のB2ライセンス獲得
- 2019 ● B2昇格・B.LEAGUE B2に参戦
- 2021 ● B.LEAGUE B2 PLAYOFFS 進出→年間3位
- 2022 ● クラブ初のB1ライセンス取得
- 2023 ● クラブ初のプレーオフQFホーム開催
- 2024 ● **B1昇格決定**
- 2025 ● 現在に至る

「越谷アルファーズ」が大切にしてきたこと



越谷アルファーズは地域に根差したプロバスケットボールクラブとして

- 地域の魅力を広めるハブとなること
- 子どもたちの夢・憧れ・希望となること
- アルファーズをきっかけに街に人々が訪れ、より活気あふれる街となること
- 誰もが楽しめる日本一の「一体感空間」を生み出すこと

を目標に活動をしています。

「越谷アルファーズ」が大切にしてきたこと



## 地域の魅力を広めるハブとなる



埼玉ブランド農産物のひとつであり  
越谷の特産物である「ネギ」を  
モチーフにしたグッズ『ネギばんばん』  
の開発・販売を行い、大きなムーブメントに。

「アルファーズといえばネギばんばん」

「越谷といえばネギ」と

代名詞的存在となっています。

メディアでも多く取り上げていただき  
単なる応援アイテムではなく

「越谷の魅力」を発信するアイテムとして  
多くの方に愛されています。



- ▼メディア掲載実績
- ・NHK「サンデースポーツ」
  - ・テレビ埼玉
  - ・Yahoo!ニュース
  - ・日本農業新聞
  - ・バスケットボールキング
  - ・スポジョバ
  - ・読売新聞
  - ・埼玉新聞
  - ・日刊スポーツ
  - ・東武よみうり
  - ・西スポWEBOTTO 他



他にも越谷だるまや水郷こしがやを  
ユニフォームデザインに表現するなど  
「越谷アルファーズ」を通して、越谷の名前、魅力が  
全国に届くよう地域を大切にしたブランド戦略  
を積極的に行っています。

「越谷アルファーズ」が大切にしてきたこと



子どもたちの夢・憧れ・希望となる

越谷の子どもたちにとって

「このまちに越谷アルファーズがあって良かった」  
「アルファーズがあるからこそこんな体験ができた」と、夢・憧れ・希望を与える存在になることができるよう小中学校や保育所を選手やチアリーダーが訪問し直接触れ合う活動や、バスケットボールやチアダンスに触れていただく「**アルファーズ元気キャラバン**」の活動を大切に、年100回以上行っています。また、キッズカードによる観戦機会創出、自由帳やバスケットボールの寄贈などの貢献活動も積極的に行っています。

## 2024-25SEASON活動実績

朝のあいさつ編 59回



ネギばんばん編 30回



合計  
111回

チアダンス編 14回



夢チャレンジ編 8回



2025年3月にこしがやエフエムが  
越谷市内小中学校卒業生全員(約5,600人)に行ったアンケートで  
思い出No.1が「越谷アルファーズ」に！

「越谷アルファーズ」が大切にしてきたこと



## アルファーズをきっかけに街に人々が訪れる

越谷アルファーズのホームゲームを観戦に訪れるのは越谷・埼玉の方々だけではなく。対戦相手であるアウェーチームのファンの皆様も多く越谷を訪れます。土日で開催するバスケットボールは泊まりがけでお越しになる方も多く、飲食店や宿泊施設にもたくさんの皆さんが訪れるきっかけとなっています。

## 誰もが楽しめる日本一の「一体感空間」を



老若男女が集い熱狂する空間を目指しています。越谷アルファーズのホームゲームは他のBリーグチームと比べてもお子様の数が圧倒的に多いのが特徴です。まちに根差し、誰もが楽しめる『日本一の一体感空間』を生み出すことを目標にしています。

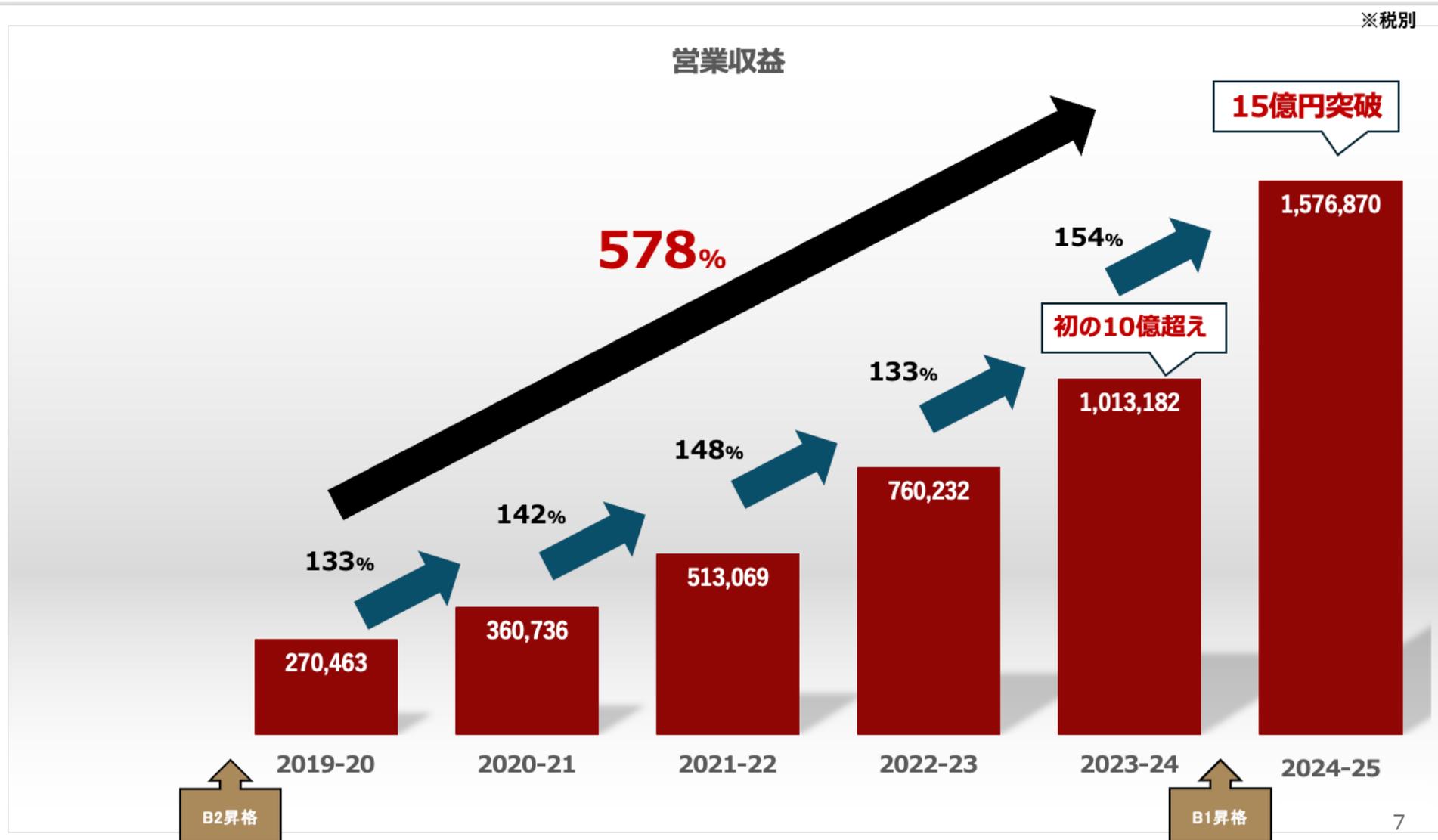
また2024年6月に行ったB1昇格パレードには15,000人の方が訪れました。



# 「越谷アルファーズ」の現状



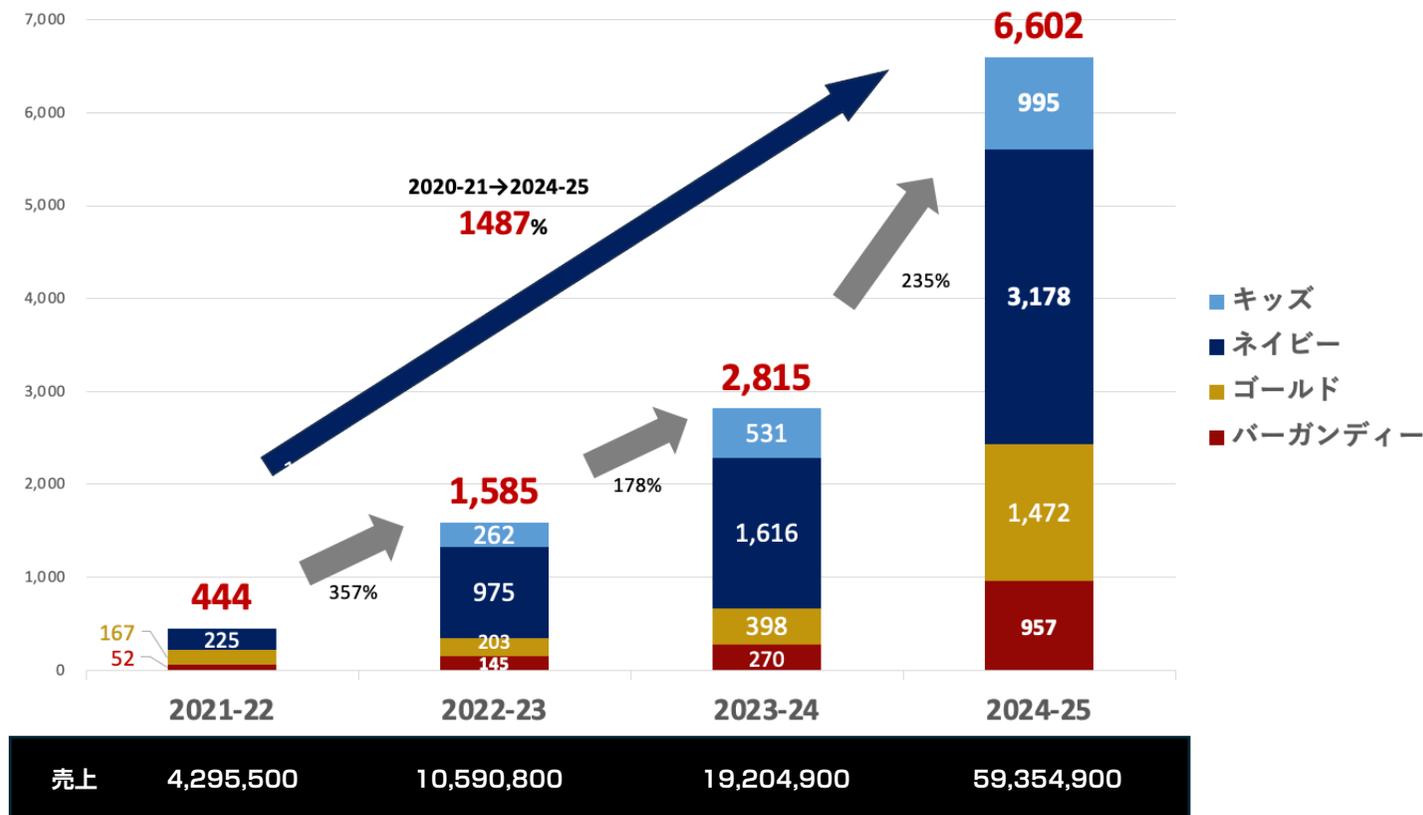
地域に根差した活動が少しずつ実を結び、各事業で年々成長を続けております。



# 「越谷アルファーズ」の現状



## ファンクラブ会員数推移



都道府県	市区町村	会員数
千葉県	船橋市	6,653
福井県	福井市	5,132
栃木県	宇都宮市	4,168
長崎県	長崎市	3,432
埼玉県	越谷市	2,501
千葉県	市川市	2,394
沖縄県	那覇市	2,281
東京都	世田谷区	2,276
佐賀県	佐賀市	1,992

2025年9月30日時点で  
Bリーグの全ファンクラブ会員の中で  
越谷市民が

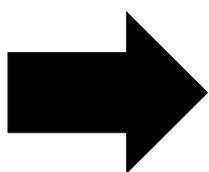
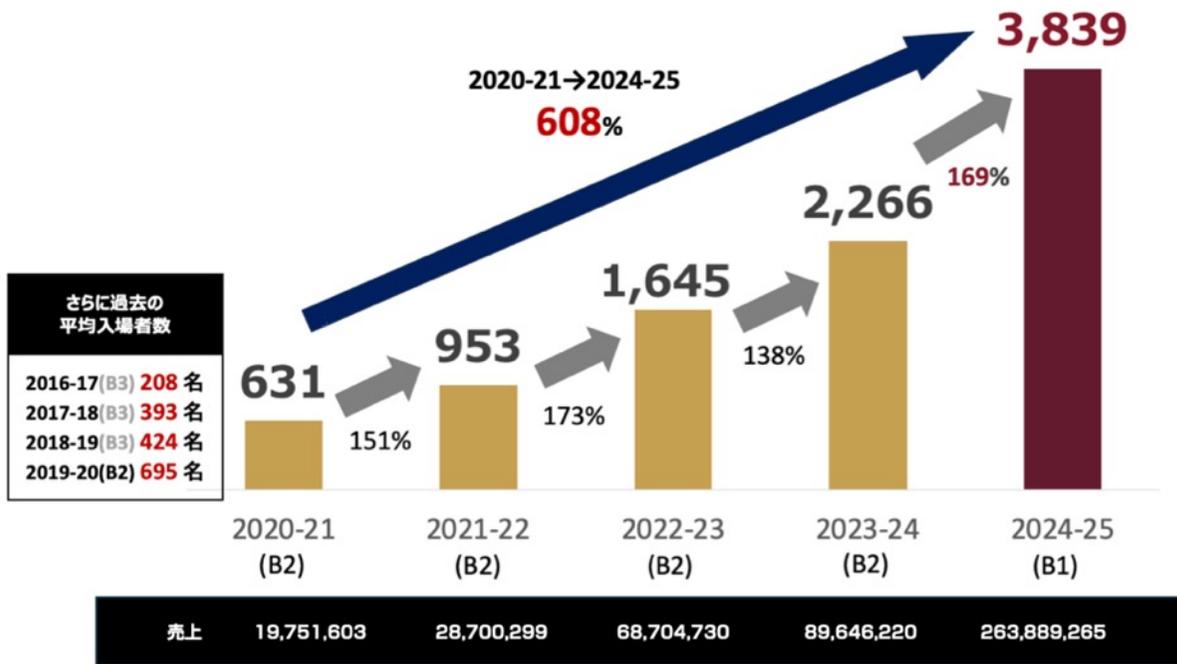
全国市町村で **5** 位  
(常に4位~5位をキープ)  
※有料に絞るとさらに上位に

有料ファンクラブ数はB1クラブの中でもトップクラスです。  
また中でも「越谷市民」が占める割合が非常に大きくなっています。

# 「越谷アルファーズ」の現状



シーズン平均入場者数推移



2025-26SEASONは

2月時点(30試合中21試合終了時点)でホーム総入場者数**113,253**人 (平均5,393名)  
3月には平均4,000名超えが確定する見込み

## <TOPIC>

2025年12月27日(土)28日(日)さいたまスーパーアリーナでの興行を開催いたしました。



Bリーグ史上初の2万人超えを2日間連続で達成    12月27日(土) **20,244**人  
12月28日(日) **20,475**人  
◇ 2日間合計 **【40,719人】** ◇

「Bリーグ」について



# 「Bリーグ」とは

2016年秋に開幕した

## 国内男子プロバスケットボールリーグ

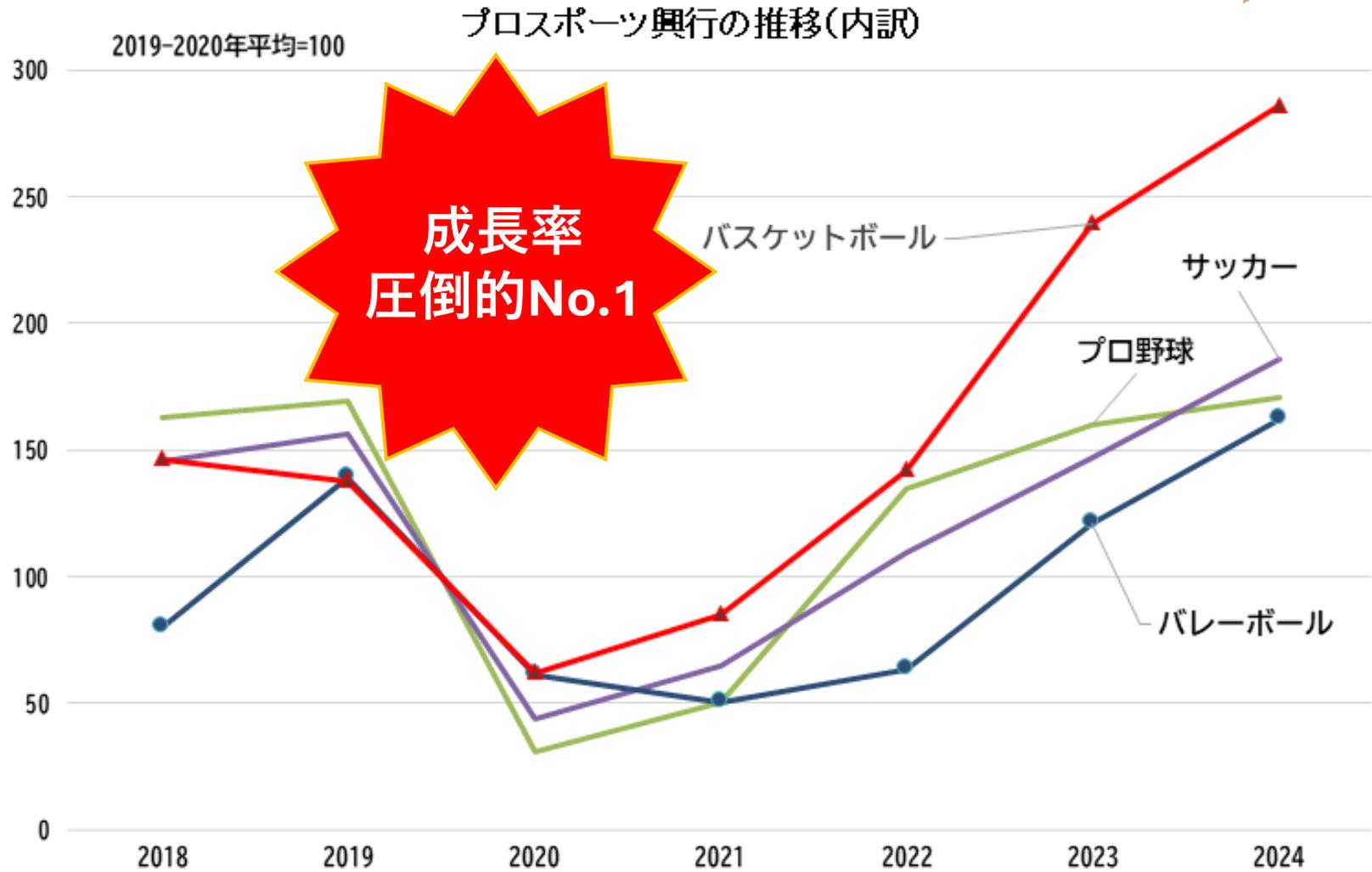
◎野球・サッカーに次ぐ 日本3番目のプロスポーツリーグとして発足しました



※画像出所：B.LEAGUE（Bリーグ）公式サイトより



# 「Bリーグ」について



資料：第3次産業活動指数（経済産業省）

**B.LEAGUEはどう変わる？**

# B.革新 II

**強化**

**経営**

**社会性**

の3つの軸に沿って  
2026年からリーグ構造の変更を伴う

## 大きな変革

**2026-27シーズンから新たなリーグ構造に生まれ変わります。**

**2026-27シーズンから新たなリーグ構造となり、競技成績に基づいた昇格・降格が廃止されます。**

## 「Bリーグ」について

2026年秋から新たなリーグ構造がスタートします。



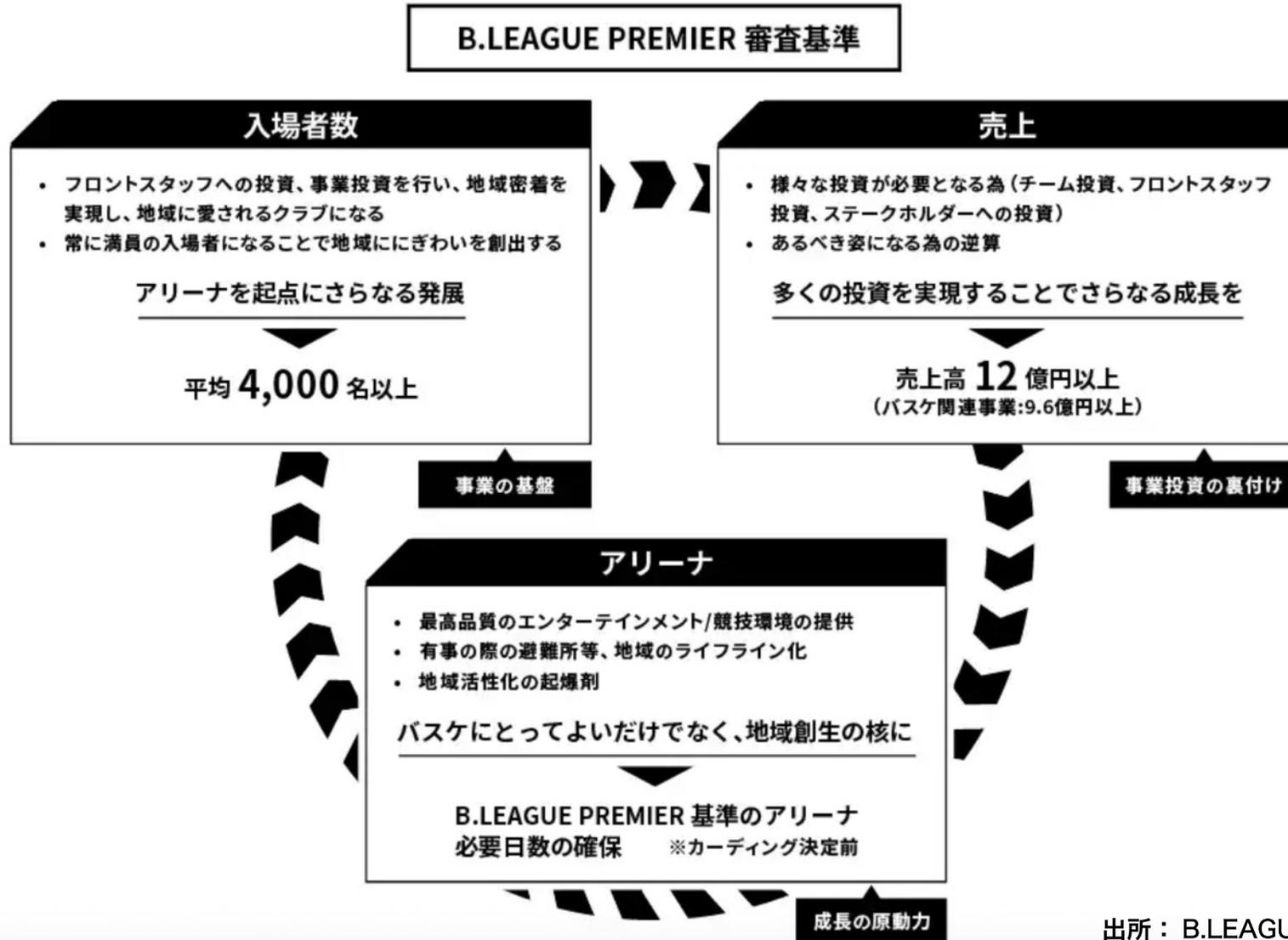
**各ディビジョンに参入するためには厳正なる審査をクリアしなければなりません。**

出所： B.LEAGUE

# 「Bリーグ」について



トップリーグ「B.LEAGUE PREMIER」参入のためには大きく3つの基準をクリアする必要があります。



# 「Bリーグ」について



トップリーグ「B.LEAGUE PREMIER」参入のためには大きく3つの基準をクリアする必要があります。



## B.LEAGUE PREMIER 審査基準

### 入場者数

- フロントスタッフへの投資、事業投資を行い、地域密着を実現し、地域に愛されるクラブになる
- 常に満員の入場者になることで地域ににぎわいを創出する

アリーナを起点にさらなる発展

平均 **4,000** 名以上

### 売上

- 様々な投資が必要となる為 (チーム投資、フロントスタッフ投資、ステークホルダーへの投資)
- あるべき姿になる為の逆算

多くの投資を実現することでさらなる成長を

売上高 **12** 億円以上  
(バスケ関連事業:9.6億円以上)

事業の基盤

事業投資の裏付け

### アリーナ

- 最高品質のエンターテインメント/競技環境の提供
- 有事の際の避難所等、地域のライフライン化
- 地域活性化の起爆剤

バスケにとってよいだけでなく、地域創生の核に

B.LEAGUE PREMIER 基準のアリーナ  
必要日数の確保 ※カーディング決定前

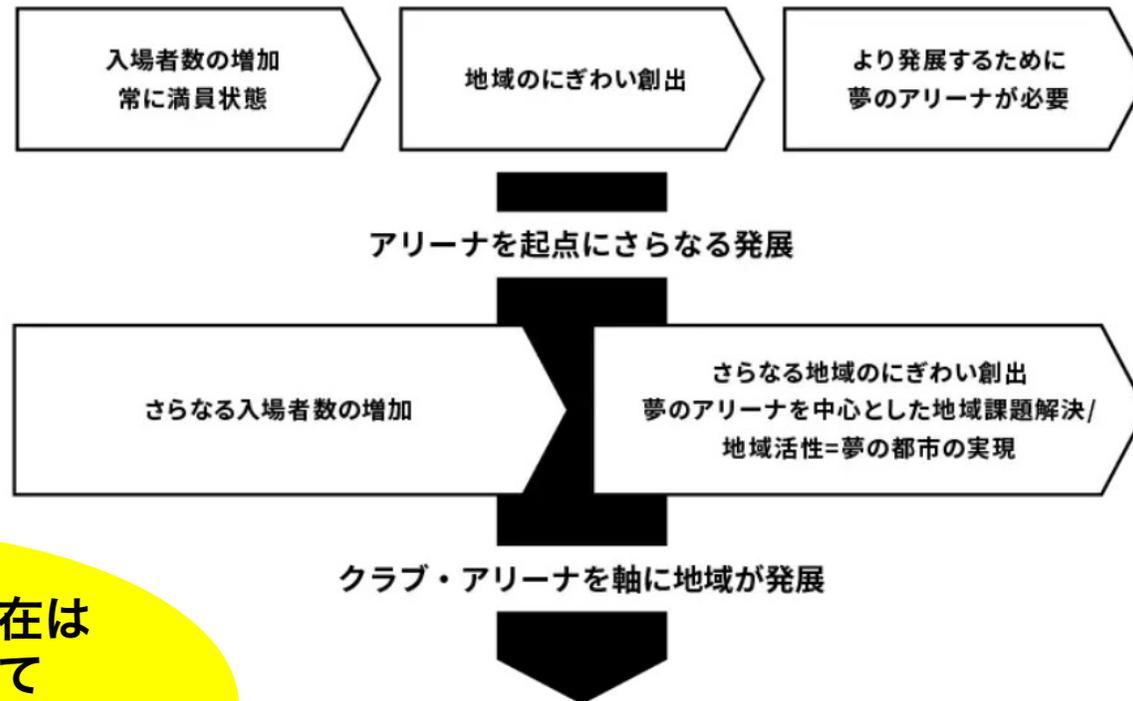
成長の原動力

# 「Bリーグ」について



## クラブ・アリーナを軸に地域が発展するための審査基準を設定

### B. 革新における基準設定の考え方



「アリーナ」の存在は  
新リーグにおいて  
非常に重要な位置付け  
となっています。

バスケットで日本を元気に！

## B.PREMIER参入に向けて



越谷アルファーズでは、2025-26SEASON(今シーズン)・2026-27SEASONで

基準(入場者数・売上高)の判定をクリアし、2027年10月の審査でのB.PREMIERライセンス取得

→2029-30SEASONからのB.PREMIER参入を目指します

# 2029-30 シーズン B.PREMIER 新規入会

2024-25 シーズンに平均入場者数 4,000 名を超えた BPREMIER ライセンス未取得クラブはいないため、B.PREMIER に新規入会があるのは 2029-30 シーズンからとなる



出所：B.LEAGUE

## B.PREMIER参入に向けて

越谷アルファーズでは、2025-26SEASON(今シーズン)・2026-27SEASONで

# B.PREMIERを目指す理由

基準(入場者数・売上高)の判定をクリアし、2027年10月の審査でのB.PREMIERライセンス取得

→2029-30SEASONからのB.PREMIER参入を目指します

- プロクラブとして「日本一」を目指す

## →トップリーグがある価値を越谷にもたらしたい

2024-25シーズンに平均入場者数4,000名を超えたBPREMIERライセンス未取得クラブはいないため、B.PREMIERに新規入会があるのは2029-30シーズンからとなる

- 「B1リーグ」を経験し

ファン増加数  
アウェーファンの来場数  
全国メディアでの取り上げ頻度  
などが飛躍的に高まることを経験

## →越谷の名を全国に轟かせると共に 地域活性化に寄与したい





# アリーナ実現に向けて

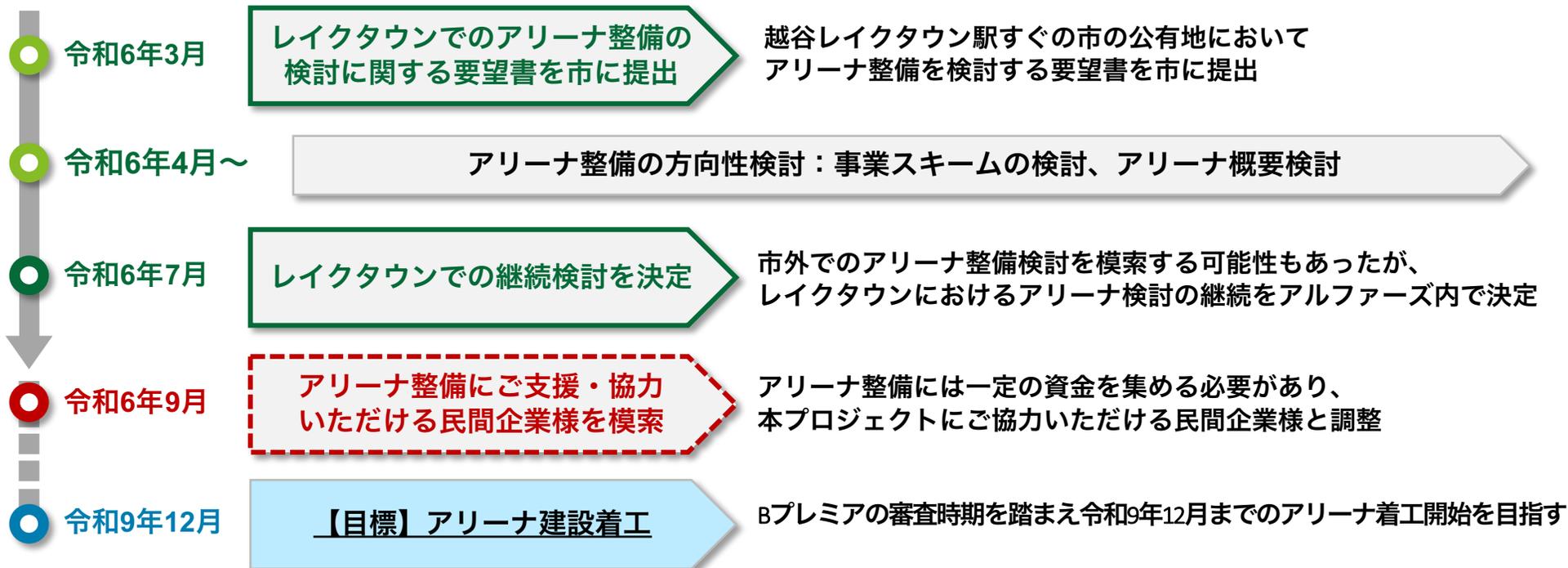
# アリーナ実現に向けて

アリーナプロジェクトチームを組み、アリーナ実現に向けて各所との協議・調整を進めております  
なお、本プロジェクトは

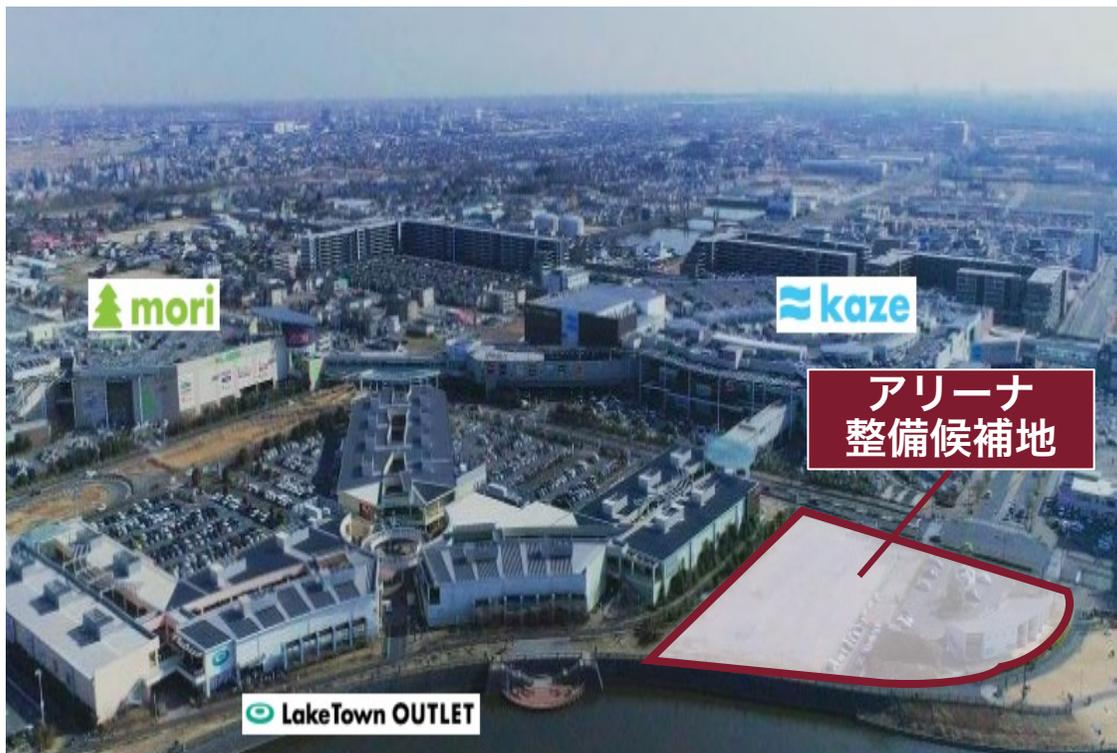
令和7年度スポーツ産業の成長促進事業

「スポーツコンプレックス推進事業（基本構想・計画支援事業）」

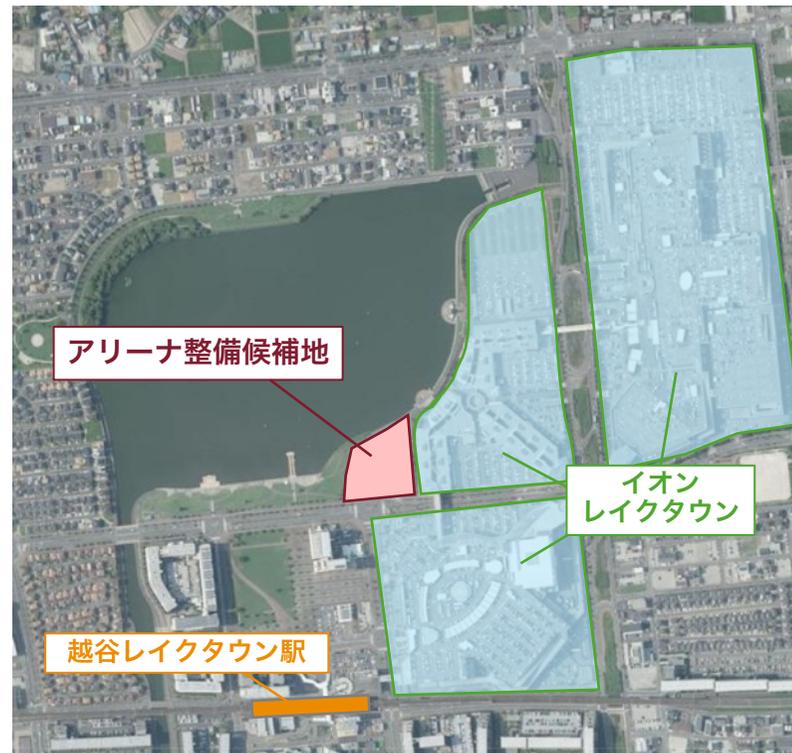
に採択いただき、スポーツ庁からの委託を受けてクラブとしてアリーナプロジェクトのビジョン策定から基本構想・計画策定までを実施中です。



越谷レイクタウン（整備候補地）



※画像出所：イオンモールニュースリリース画像より



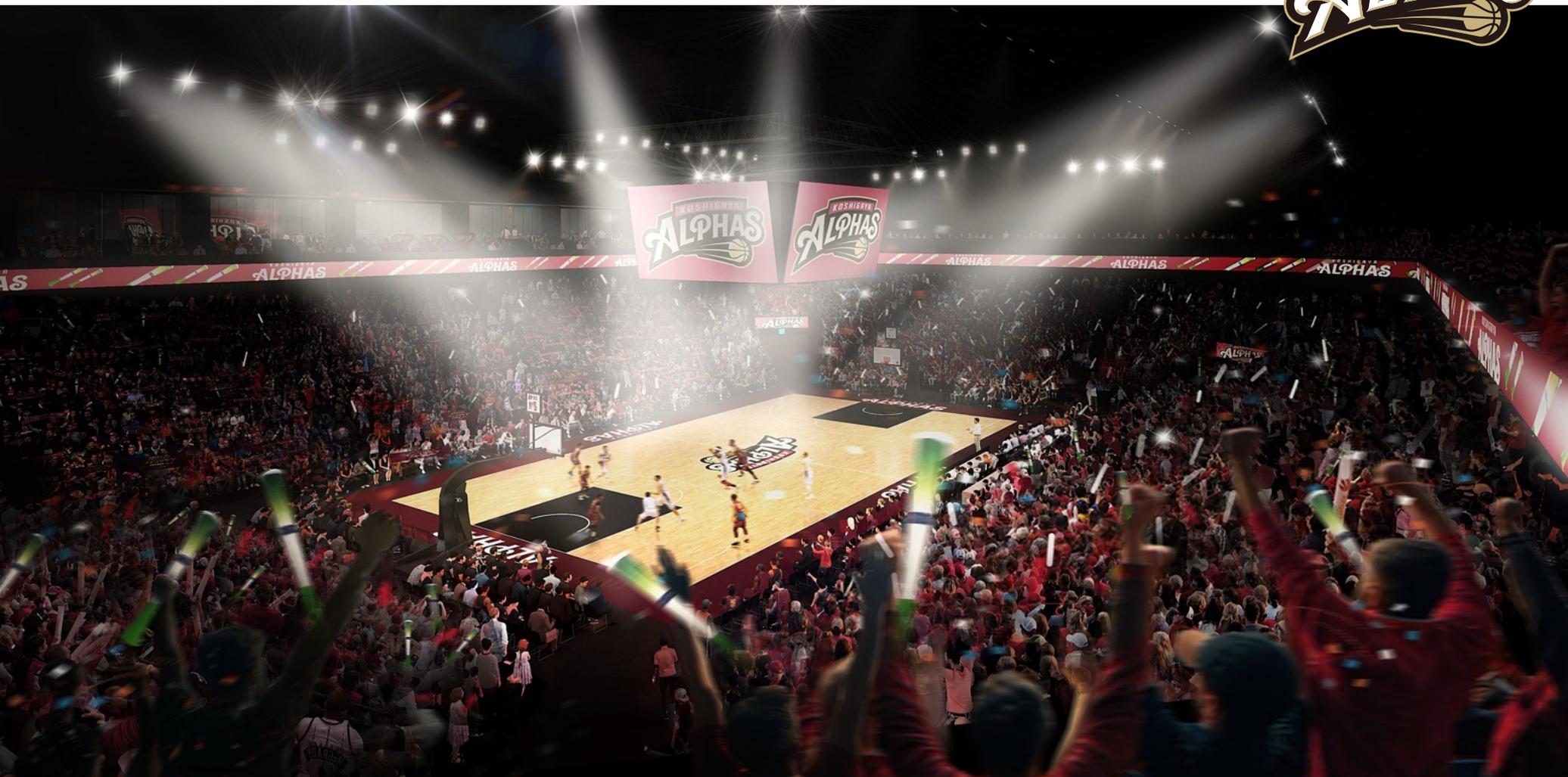
※出所：国土地理院地図をもとに作成

項目	内容
場所	埼玉県越谷市レイクタウン4丁目1-3,1-4,1-5,1-6
敷地所有者	越谷市（本敷地でのアリーナ検討について市に要望書を提出済み）

※整備候補地の使用については、敷地所有者である越谷市に土地の貸付けを現在要望中であり、まだ決定はしていません。



※パースはイメージです／今後の検討により変更になる可能性があります



※パースはイメージです／今後の検討により変更になる可能性があります

本アリーナは“民設民営”での事業実現を目指します。  
(規模は5,000人以上を想定)

## アリーナ実現によって目指すこと

アリーナ整備により、バスケットで越谷のまちを盛り上げ、地域にエネルギーを生み出すとともに、地域の皆様がスポーツを愛し、発展していく越谷を作り出すことを目指します。



### 越谷アルファーズのクラブビジョン

「バスケットでまちを盛り上げる」 「日本一の“一体感空間“を」

- ・ 地域に根ざし、まちを盛り上げ、皆さまの夢・誇りとなる
- ・ ホームアリーナで日本一の“一体感“空間を生み出す



### B.革新を踏まえたビジョン/まちづくり・アリーナ建設に向けたチャレンジ

「越谷」の名を背負い、トップリーグで戦うプロクラブとなる

かつてアルファーズが企業チームからプロクラブ化する際に受け入れていただいた越谷市  
この地をホームタウンとして日本最高峰の舞台(B.PREMIER)で戦い 日本一のクラブとなり 越谷の名を全国へ届ける

ホームアリーナを地域の皆様にとっての「夢のアリーナ」に

ホームアリーナがハブとなり、地域にさらなるにぎわいを 日本一の商業施設と隣接するアリーナで唯一無二の体験を  
エンターテインメントだけでなく、防災・教育・交流の拠点に

### アリーナを通じてアルファーズが思い描く越谷の方向性

スポーツを通じて  
地域に+αのパワーを

まちを愛するプロクラブ  
スポーツを愛するまち





# 超”地域密着”アリーナ

越谷アルファーズは越谷と共に成長し、越谷と共に育ってきたクラブです。  
地域に根ざした活動を大切に、地域の皆さまに心から愛されるクラブを目指しています。

会員数などにも表れている通り、「越谷市民」はBリーグ界でも年々存在感が増しています。  
また、越谷アルファーズのホームゲームの来場者で特徴的なのが「子どもが多い」という点です。

そんな越谷アルファーズが描くアリーナは「超”地域密着”アリーナ」  
民設民営での事業実現を目指していますが、夢のエンターテインメント空間を実現するだけでなく、  
行政・地域の皆さまにもお力をいただきながら  
地域の皆さまの日常にも寄り添うアリーナを目指していきたいと考えています。

日本一子どもに優しく、日本一あたたかい、日本一安心できる場所。  
そして日本一の一体感空間が感じられる、  
皆さまにとって特別なアリーナにしていきたいです。

そして・・・ **「地域力」でB.PREMIER昇格を!!**

# 日本一のスポーツと市民の日常体験が融合する越谷のシンボル

## 日本一・頂点

### 目指す方向性

国内最大級の集客を誇る**商業施設と連携したスポーツコンプレックス**で、**アルファーズのバスケット**による「**日本一の“一体感空間”**」に挑戦し、Bプレミアの頂点を目指す。アリーナが越谷市だけではなく県内全域で**スポーツを愛するシンボル・聖地**となる。

## 成長・循環

### 目指す方向性

日本一・頂点を目指す**湖畔のアリーナ**はクラブの顕在・潜在層を含む市外や県外からの**広域集客・交流人口拡大**の枠を超え、クラブは都市とともに成長を続ける。湖畔から人があふれ・その賑わいは**周辺に波及し・受け止め、人流・経済が循環**する。

## 持続可能性

### 目指す方向性

スポーツを核とする**多様なエンターテインメント**が**新たなカルチャーの形成・発展・交流**を生むことで、住民にほこりをもたらす。また**官民連携により、市民利用における日常と日本一スポーツの非日常の2つの姿に「変身」するアリーナとして安全なまちづくり・採算性を確保**し、地域とともに成長・循環する持続可能なアリーナを目指す。

01

バスケットの一体感空間

- ✓ 大型ビジョン・先端の観戦設備
- ✓ VIPルーム観戦
- ✓ 家族向け観戦スペース・諸室
- ✓ 県内チームと連携したスポーツの聖地 等

02

スポーツコンプレックス  
(商業施設連携)

- ✓ 日替わりテナント出店
- ✓ イオンモールとの連携イベント
- ✓ 商業集客層への訴求による広告価値向上 等

03

広域集客・  
交流人口拡大

- ✓ (概念) 日本一を目指すアルファーズとアリーナの成長
- ✓ 湖畔エリアと連携した物販・飲食コラボ
- ✓ 結節空間の活用 等

04

賑わいの周辺波及  
(周辺エリア連携)

- ✓ 南越谷エリアとの観光パッケージ
- ✓ 広域パブリックビューイング
- ✓ クーポン・割引キャンペーン 等

05

多様なエンターテインメント・カルチャー

- ✓ 音楽興行・MICE
- ✓ 家族向け催事・イベント
- ✓ アルファーズによるスポーツ関連イベント 等

06

官民連携による  
まちづくり

- ✓ 子どもに優しいアリーナ
- ✓ 県民スポーツ利用
- ✓ 市民憩い空間の形成(屋上広場等)
- ✓ スポーツ教室
- ✓ 防災機能拡充 等

## アリーナの地域貢献機能 Dream × Community × Living

家族のリビングが中心であるように、多様な人々が集い、多世代が交わり、互いの暮らしを温め合い、夢を育む「街のリビングルーム」

### 日本一・頂点

- ✓ 子供たち・若者の夢が芽生える
- ✓ 日本一、交流や気づき生まれる場

### 成長・循環

- ✓ 多世代交流・多文化共生
- ✓ 地域コミュニティの再生

### 持続可能性

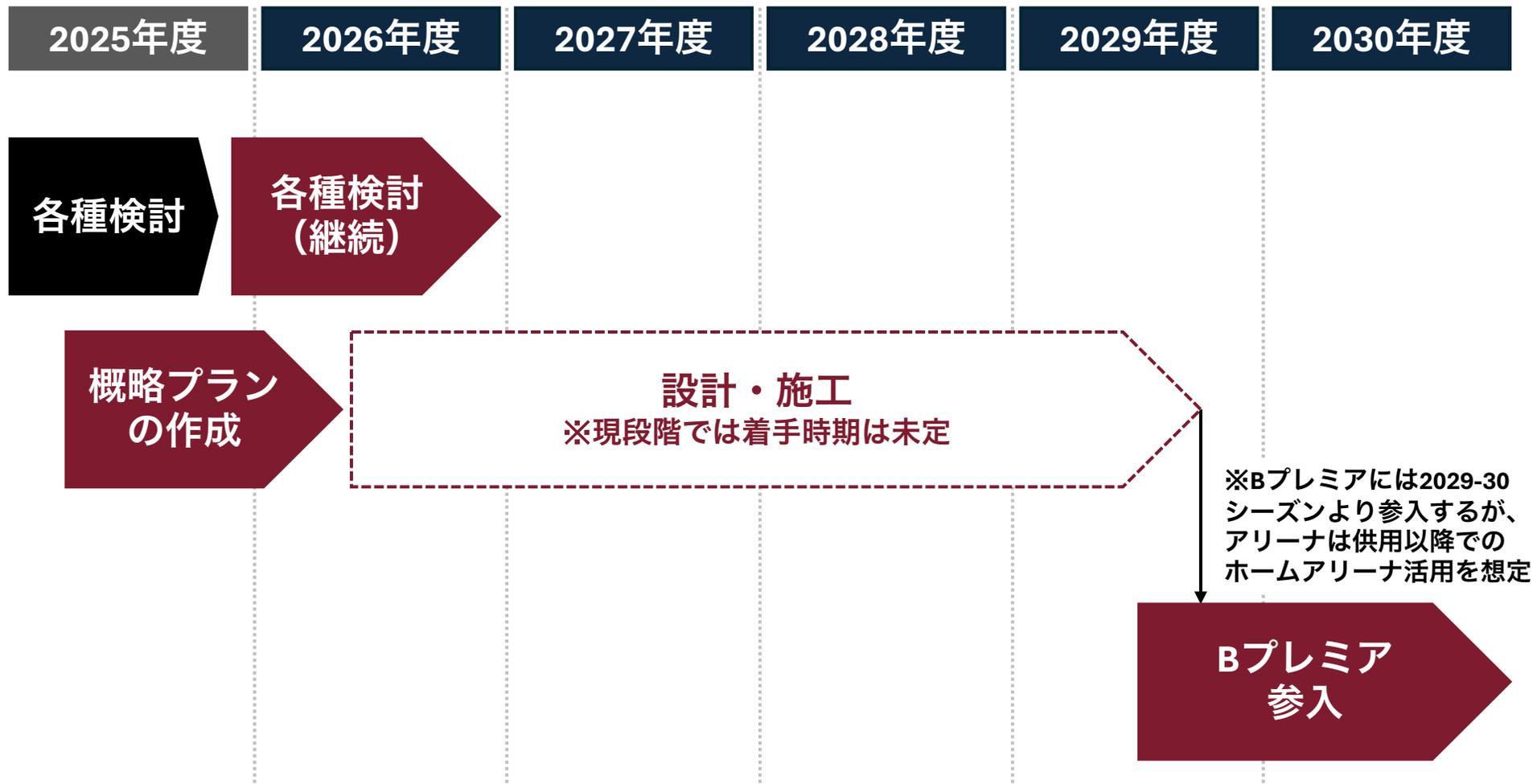
- ✓ 人々が安心して過ごせる生活の場
- ✓ 越谷市に対するロイヤルティ醸成



## 想定スケジュール

2029-30シーズンからBプレミアに参入することを目指し、アリーナ計画を進めていく予定です。

※以下スケジュールは暫定となります。





“レイクタウンアリーナ Project”は、引き続き検討を進めていく予定です。検討の進捗状況を踏まえ、適宜情報を公表させていただきますので以降もどうぞよろしく申し上げます。

越谷アルファーズ